

# なのはな米1等比率95%以上!!

- これからは気温が高くなります。**育苗ハウスは換気を徹底**し、がっちり苗に仕上げましょう。
- 基肥は、土壌条件に応じた**施肥基準**となるよう調整し、**必ず落下量を確認し確実に施用**してください。
- 雑草の発生が早くなっています。**除草剤は遅れずに散布**しましょう。

## 1 硬化期の育苗管理

- ・ **換気を徹底**し、日中の**ハウス内温度は25℃以下**に!
- ・ **かん水は、床土の乾き**に応じ、**的確**に行いましょう。  
(育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意)
- ・ **田植7~10日前からは、夜間もハウスを開け**、外気にならしめましょう。

天気予報が晴れなら  
早朝から換気!



表 育苗期間中の温度管理の目安

ステージ	出芽期	緑化期	硬化期
育苗 日数	3日 (3日)	2~3日 (3~4日)	13~15日 (15~20日)
温度	昼	30℃	<b>25℃以下</b>
	夜	30℃	10℃以上

注) カッコ内は4月上旬に播種した場合

## 2 本田準備

- ・ ヒエ等の雑草の発生を抑えるため、**代かきは田植予定日の3~5日前に実施**しましょう。
- ・ 代かきは、少なめの水で行って稲わら等の埋没に努め、**代かき後の濁り水を用水に流さないよう注意**しましょう。

## 3 基肥量の調節

★田植前に必ず基肥量を調節しましょう。

- ・ **品種や圃場条件**に応じた**基肥量**など適切な**施肥設計**を行いましょう。
- ・ 前年、基肥一発肥料が余った(注文数量より使用量が少ない)場合は、田植機の施肥部分の開度を確認し、地域の基準量を確実に施用しましょう。
- ・ **田植作業の最初の田**では、肥料使用量と田面積から**施用量**を算出し、**基準どおりか確認**しましょう。

基肥設計例(品種:コシヒカリ、10a 当たり)

土質	分施						肥効調節型基肥
	側条施肥		全層施肥				側条施肥
	設計 I	設計 II	設計 I		設計 II		基肥一発肥料
	なのはな有機基肥	基肥555	なのはな有機基肥		基肥555		
基肥			早期追肥 (田植後7日)	基肥	早期追肥 (田植後7日)		
砂質田	35kg	30kg	30kg	10kg	25kg	10kg	なのはな一発基肥1号 40kg
壤質田	30kg	25kg	25kg	10kg	20kg	10kg	なのはな一発基肥2号 35kg
粘質田	25kg	20kg	20kg	10kg	15kg	10kg	なのはな一発基肥3号 30kg

※ 大豆跡田は、**基肥量を5~7割減らしたり**、倒伏に強い品種の作付に努めましょう。また、土壌改良資材を必ず施用しましょう。

## 4 苗箱施薬による病害虫防除

~ 苗箱施薬は**規定量を確実に**入れましょう ~

使用農薬	散布量	施薬時期	対象病害虫	使用回数
エバーゴルワイド箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ~移植当日	いもち病、白葉枯病、 <b>紋枯病</b> 、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ	1回
箱大臣粒剤	50g/箱	移植7日前 ~移植当日	いもち病、白葉枯病、 <b>紋枯病</b> 、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ	1回

注) 水稻育苗後にハウス内で野菜等の栽培を行う場合には、苗箱施薬剤は必ず育苗ハウスの外で散布してください(ポジティブリスト対応)。

裏面へ続く

高温登熟回避のため、「コシヒカリ」の田植は、5月15日を中心に行いましょう。

## 5 田植えと水管理

- ・ コシヒカリの田植えは5月15日を中心とし、22日頃までに終えましょう。
- ・ **栽植密度は70株/坪・植付本数は3~4本/株、植付深さは3cm程度の浅植え**（第1葉がみえる程度）を励行しましょう。
- ・ 前年度、収量が少なかった場合、**株数を増やしてみましょ**う。株数を増やすことにより、天候が不安定な年も、より安定して品質と収量が確保できます（右図）。
- ・ 田植直後は水没しない程度のやや深水、**活着後は田面が露出しない程度の浅水**とし、早朝入水・昼間止水で田水温が高くなるよう適切な水管理に努めましょう。

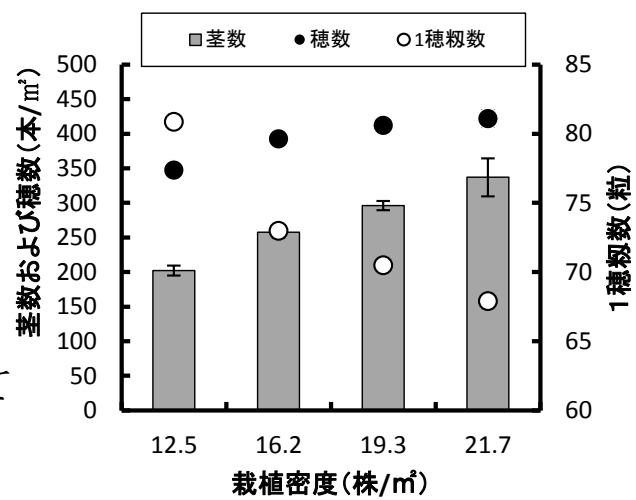
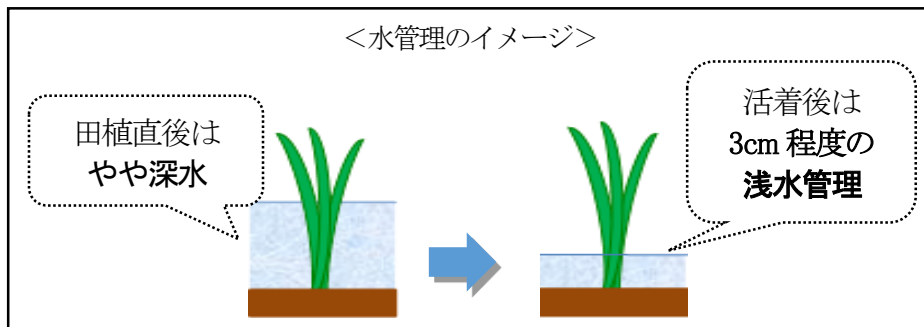


図 栽植密度が茎数、穂数及び1穂粒数に及ぼす影響 (H24 農研)  
注) 茎数：移植後20日目

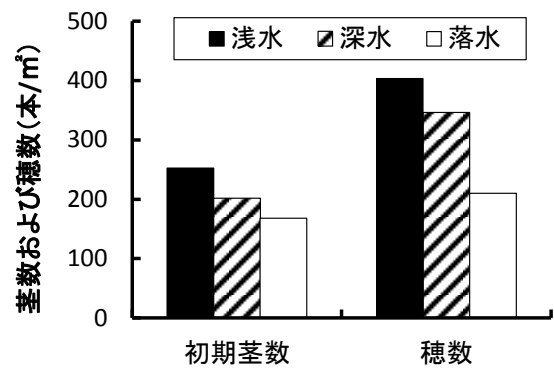


図 初期の水管理が初期茎数および穂数に及ぼす影響 (H24 農研)  
注) 初期茎数：移植後20日目の茎数

## 6 除草剤の散布

■ 雑草防除体系(除草剤の散布は遅れずに！強風時の散布は避けましょう)

～ 農薬は使用基準を守り、正しく使いましょう！ ～

区分	代かき	田植え	5日	10日	15日	20日	25日	30日
体系処理	粒剤	田植時～ノビエ1. 0葉期(田植後5日頃)	メテオ1キロ粒剤 クラール1キロ粒剤			田植後15日～ノビエ3. 0葉期(田植後25日頃)	サンパンチ1キロ粒剤	散布適期(田植後20～25日) 但し、収穫60日前まで
		田植後3日～ノビエ1. 0葉期(田植後5日頃)	マーシェット1キロ粒剤			田植後20日～ノビエ4. 0葉期(田植後30日頃)	シアゲMF1キロ粒剤	散布適期(田植後20～25日) 但し、収穫60日前まで
		田植直後～ノビエ1. 0葉期(田植後5日頃)	メテオジャンボ			田植後14日～ノビエ3. 0葉期(田植後25日頃)	アトカラS ジャンボMX	散布適期(田植後20～25日) 但し、収穫45日前まで
一般的な使用例	粒剤・フロアブル剤	田植時～ノビエ1. 5葉期(田植後7日頃)	ヨシキタ1キロ粒剤	散布適期(田植後3～5日)				
		田植時～ノビエ2. 5葉期(田植後13日頃)	ガンガン1キロ粒剤 アピログロウMX1キロ粒剤 エンペラー1キロ粒剤	散布適期(田植後3～12日)				
		田植時～ノビエ2. 0葉期(田植後11日頃)	アールタイプ1キロ粒剤	散布適期(田植後3～10日)				
		田植後5日～ノビエ2. 0葉期(田植後11日頃)	コメット1キロ粒剤	散布適期(田植後7～10日)				
		田植後3日～ノビエ2. 0葉期(田植後11日頃)	アールタイプフロアブル	散布適期(田植後3～10日)				
一発処理	ジャンボ剤他	田植後3日～ノビエ2. 0葉期(田植後11日頃)	ガンガンジャンボ ガンガン豆つぶ250	散布適期(田植後5～10日)				
		田植後3日～ノビエ2. 5葉期(田植後13日頃)	アピログロウMX ジャンボ	散布適期(田植後5～12日)				
		田植後5日～ノビエ2. 0葉期(田植後11日頃)	ボランティアジャンボ	散布適期(田植後5～10日)				

### ＜除草剤の効果を高める7つのポイント＞

- ① 代かきはていねいに、**圃場の均平に努める**。
- ② 代かき後に気温が高いと雑草の発生・生育が早まるので、**遅れずに散布する**。
- ③ 代かきから田植えまでの期間を長くしないようにする。⇒長い場合は体系処理で。
- ④ 湛水状態で散布する場合は、水の出入りを止め、5cm程度の湛水深を保ち散布する。
- ⑤ 除草剤散布後は、4～5日間程度**湛水状態を保つ**。  
水漏れ防止のためしっかり「畦づくり」をする。
- ⑥ 散布後7日間は「落水」や「かけ流し」をしない「止水管理」とし、水田外への流亡を防ぐ。
- ⑦ 田植同時散布機(こまきちゃん等)を使用する場合は、薬害が発生しやすいので、散布機の散布量調整を必ず行い、適量を散布する。

★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

＜情報提供内容＞

- ・ 栽培管理情報
- ・ 緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理情報
- ・ その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービスへの

登録はこちらから  
(QRコードにスマホ等を  
かざして必要な情報を  
登録してください)



★春の農作業安全運動実施中(4/1～5/31)「ヒヤリ」「ハッ」とした経験を、農作業事故の未然防止に役立てましょう！